

平成29年度

原町第三小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 杉千尋

1 学校図書館の概要

学校の紹介

市内中心部に位置する全校児童331名（普通13学級、特別支援2学級）の学校である。

図書室は「物語の部屋」（9類の小説や文学のジャンルの図書及び絵本を配架）と「調べる本の部屋」（0類～8類のそれ以外のジャンルの図書を配架）の2部屋に分かれている。

平成24年度にモデル校の一つとして学校図書館支援活動を開始し、今年で6年目の活動となる。なお、平成28年度に異動があり、現学校図書館支援員での活動は2年目である。

平成29年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
47名	62名	46名	55名	56名	55名	8名	329名

(平成30年3月末時点)

学校派遣日 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 小森由貴子先生

学校図書館蔵書数（4月当初） 19,962点

学校図書館受入点数（3月末時点） 320点

うち 市費購入点数及び金額 236点（490,668円）

うち 寄贈資料点数 31点

うち PTA費購入点数 53点

2 平成29年度の課題及び目標

課題1 電算システムの導入及び運用を開始する。

課題2 図書準備室の整理を完了させる。

課題3 個人貸出規則を定着させる。

課題4 継続的な調べ学習参考図書の更新作業を行う。

目標1 刊行年が古いなどで電算登録を行わない蔵書を見極め、効率的な電算化を進めて電算システムの運用開始を目指す。

目標2 年度内に図書準備室の整理を完了し、書庫としての活用を開始する。

目標3 全校児童へのオリエンテーションを実施すると同時に継続的な図書館利用を促進し、個人貸出規則が定着する環境を整える。

目標4 調べ学習での図書利用状況を把握し、優先的に更新作業を要する分野を見極める。

3 活動の方針

- ・図書館運営全体計画に沿って、担任等と連携して児童の読書活動を支援する。
- ・児童図書委員会の協力を得て新着図書案内やおすすめの本紹介等を行い、図書室の利用促進を図る。

- ・原町第三小学校が目指す児童像の一つ「自ら本に手を伸ばし、読書を楽しむ子ども」を実現するため、レファレンスサービスの周知をするとともに「読みたい本」の提供を目指す。
- ・全国学校図書館協議会制定の「学校図書館図書廃棄規準」を参考にして図書の整理及び廃棄を進めると同時に、資料の更新を行って常に児童が最新の情報で学習できるよう努める。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生との打ち合わせ ・授業利用開始 ・利用オリエンテーション実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期組織編成及び前期活動計画設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援員会議 ・図書の借用開始 ・学校司書との打ち合わせ（月1回程度、～3月）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・個人貸出開始 ・PTA環境整備ボランティア活動（～3月） ・地域読み聞かせサークル活動（～2月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出当番開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックトーク研修会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・電算化作業（～12月） ・児童への購入希望図書アンケート実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・しおりプレゼント企画実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・電算システム研修（学校教育課主催） ・施設見学（2年生）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み特別貸出実施 ・購入図書の選書打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ ・長期未返却者確認及び督促 ・夏休み特別貸出周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしゃかんだより配布
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方への購入希望図書アンケート実施 ・夏休み貸出図書返却処理 		<ul style="list-style-type: none"> ・電算システム研修（学校教育課主催）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・購入図書の選書調整 ・夏休み貸出図書返却処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み特別貸出未返却者確認及び督促 ・前期活動反省 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の発注 ・読書月間企画打ち合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期組織編成及び後期活動計画設定 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・購入図書の受入 ・読書月間企画実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新着図書の紹介 ・おすすめ本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・郡山市学校図書館視察研修
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み貸出 ・電算システム運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ ・長期未返却者確認及び督促 ・冬休み貸出周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしゃかんだより配布 ・学校図書館活用教育講演会（学校教育課主催）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み特別貸出図書返却処理 ・電算貸出開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み特別貸出未返却者確認及び督促 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・長期未返却者確認及び督促 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年への読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしゃかんだより配布

3月	・個人貸出終了 ・蔵書点検、不明本検索	・不明本検索 ・後期活動反省	
----	------------------------	-------------------	--

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4月

・利用オリエンテーションの実施

2年生以上の全学級で利用オリエンテーションを実施し、貸出方法の確認と簡単な分類説明を行った。

・地域読み聞かせサークルの活動支援

今年度は例年よりも早い4月から地域読み聞かせサークルの活動が開始となった。昼休みに月1回程度、各学年を回る形で読み聞かせを行っていただいた。

学校図書館支援員は会場の準備や普段の読書の様子を知らせて選書の参考にしてもらおうなどの支援を行った。

・図書館便りの発行

昨年度、企画等に関して掲示や図書委員を通じた呼びかけだけでは不十分と感じることが多くあり、今年度より図書館便りを発行することとなった。

主となる対象を保護者ではなく児童に設定し、1年生でも読めるようすべての漢字にルビを振り、3月まで月に1回程度の発行を行った。

5月

・個人貸出開始

ゴールデンウィーク後、2年生以上を対象に個人貸出を開始した。また、1年生も例年6月以降に行っていた利用オリエンテーションを昨年度に引き続き5月上旬に実施し、貸出を開始した。

各自で貸出カードへ記入するため、限られた時間内に1人で貸出手続きを行うことはやや難しいようだったが、学校図書館支援員や学級担任、貸出当番の児童等の補助があれば、十分に可能だった。

・PTA環境整備ボランティアの活動開始（写真1）

電算化導入の準備として除籍及び廃棄、電算化に向けたバーコードの貼付及び2段ラベルの統一、図書室内の壁面飾り作成、企画の準備等多岐にわたり3月まで協力いただいた。

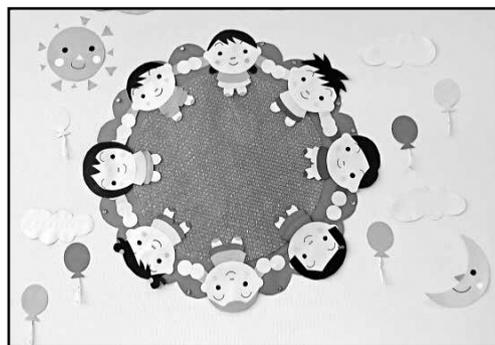


写真1

PTA環境整備ボランティアの活動内で作成した壁面飾り

6月

・企画「ほしにねがいを」実施（写真2）

本を借りるごとに七夕用の短冊を1枚配り、願い事を書いてもらう企画を実施した。

短冊には金・銀のおりがみで作成した星を貼り、窓に面した廊下の掲示板に七夕の7月7日まで飾った。

約3週間の実施で約80人の参加があったが、中には願い事が複数あると話しながら毎日来室



写真2 児童の短冊を飾った廊下の掲示板

して多くの本を借りる児童もいて、最終日には100枚近くの短冊が並んだ。

7月

・電算化開始

6月中旬から下旬にかけて電算システム用パソコン及び周辺機器の納入、電算システムのセットアップがあり、7月から蔵書の電算化を開始した。

図書担当の先生との打ち合わせの結果、新規に受け入れる本に関しては、7月分から電算登録に移行し、それまでの図書台帳の運用は停止することとした。

・企画展示「夏休みにおすすめ！」(写真3)

普段は調べる本の部屋に配架している、0類～8類の本を中心に「夏休みにおすすめ！」と題して企画展示を行った。



夏休み特別貸出(通常1人1冊1週間の貸出のところ1人2冊以内夏休み終了までの貸出)では、展示してある本から選んで借りていく児童が多く見られた。

写真3

企画展示「夏休みにおすすめ！」

8月

・学級文庫の整理及び電算登録

電算化の準備として各学級の学級文庫を集約し、資料の状態を確認して電算登録を行うか除籍・廃棄作業を行うかの整理を行った。

整理した図書は優先的に電算化作業を行い、2学期開始までに各学級へ再貸出をした。

夏休み中、先生方の協力を得てバーコードの貼付や2段ラベルへの統一の作業を行った。

9月～10月

・購入図書の選書

夏休み中に先生方へ図書カタログを回覧し、調べ学習図書を中心とした購入希望の調査を行った。また、児童からリクエストのあったシリーズ続刊等の図書と合わせ、購入図書の選書を行った。

・企画展示「ハロウィン」(写真4)

今年度は例年よりも早く、9月中旬から約1か月半にわたって企画展示を行った。

展示期間の長さに比例して興味を持つ児童が多く見られ、特に低学年を中心に展示する図書から選んで借りていく様子が見られた。



写真4 企画展示「ハロウィン」

11月

・購入図書の受入

環境整備ボランティアの協力を得て購入図書184冊の受入を行った。

昨年度は新着図書すべてを児童が日常的に訪れる「物語の部屋」に配架していたが、図書が分散

し、調べ学習の際に使いにくい様子が見られた。そのため、調べ学習を想定して購入した約70冊については「調べる本の部屋」に新着図書の棚を設置し、そちらへ配架する形とした。

・企画「読書月間プレゼント」実施（写真5）

図書委員会の児童の意見も取り入れながら、定期購読をしている雑誌の付録等をプレゼントする企画を行った。

期間は11月1日から12月1日まで、1冊借りるごとにスタンプカードへ押印し、3冊分のスタンプをためると希望するプレゼントに応募できるものである。

応募者多数の場合は抽選となることを事前に告知し、抽選はPTA環境整備ボランティアに行ってもらった。

配布するスタンプカードに1人当たりの上限を設けず、何枚でも応募できる形を取ったところ、最終的な応募カードの配布枚数は309枚、うちスタンプをためて応募された枚数は192枚となった。また、応募者は複数枚応募の39人を含む100人で、複数枚応募の最高枚数は6年生の10枚だった。

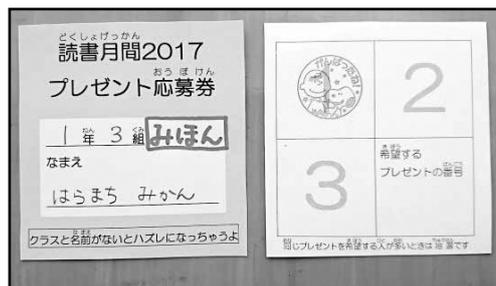


写真5

「読書月間プレゼント」応募券サンプル

12月

・企画展示「Merry Christmas & Happy New Year」

例年、12月の展示はクリスマス関連の図書のみを行うことが多かったが、今年は正月の関連の図書も合わせて展示を行った。

クリスマスの意味や正月の飾りの豆知識を一緒に掲示したところ、高学年を中心に興味深く眺めている様子が見られた。



写真6

集めた「わんこカード」を広げる児童

1月～2月

・プレゼント企画「わんこカード」実施（写真6）

昨年好評だった「とりみくじ」(※)を改良した「わんこカード」のプレゼント企画を実施した。

昨年度の「とりみくじ」では、企画終了後のおみくじカードのプレゼントへ応募するためには3冊の図書を借りる必要があったが、引くこと自体は自由に行うことができたため、利用促進に関して期待以上の成果は見られなかった。

そこで「わんこカード」では成年にちなんだ全40種類のカード（表面に犬のイラスト、裏面にその犬の豆知識を掲載）を用意し、1回借りるごとにカードを1枚引くことができるという形をとった。引いたカードはそのままプレゼントし、収集を促すように設定したところ、昨年度の1月～2月の個人貸出点数409点を大きく上回る2,232点の個人貸出点数を記録した。

※とりみくじ……酉年にちなんだ全20種類のおみくじカードから自分で引きたいカードを決め、何回目で出てくるかによってその日の運勢を占うもの。

5 中央図書館からのサポート内容

- ・ 図書の発注処理
- ・ 学校図書館への貸出点数 1, 2 2 2 点/年

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数

(単位：点)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	総合計
年間合計	1,672	1,244	806	873	1,021	295	137	6,048
一人あたり	35.6	20.1	17.5	15.9	18.2	5.4	17.1	18.4
一人あたりの昨年度比	363%	170%	188%	179%	343%	60%	150%	204%

※1 5月～3月上旬まで1人1冊1週間の貸出

※2 夏休み及び冬休みは1人2冊以内の特別貸出

※3 8月は特別貸出図書返却期間のため貸出なし

② 学級文庫貸出点数

(単位：点)

	1年 (2クラス)	2年 (3クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	334	415	251	322	224	419	311	2,276

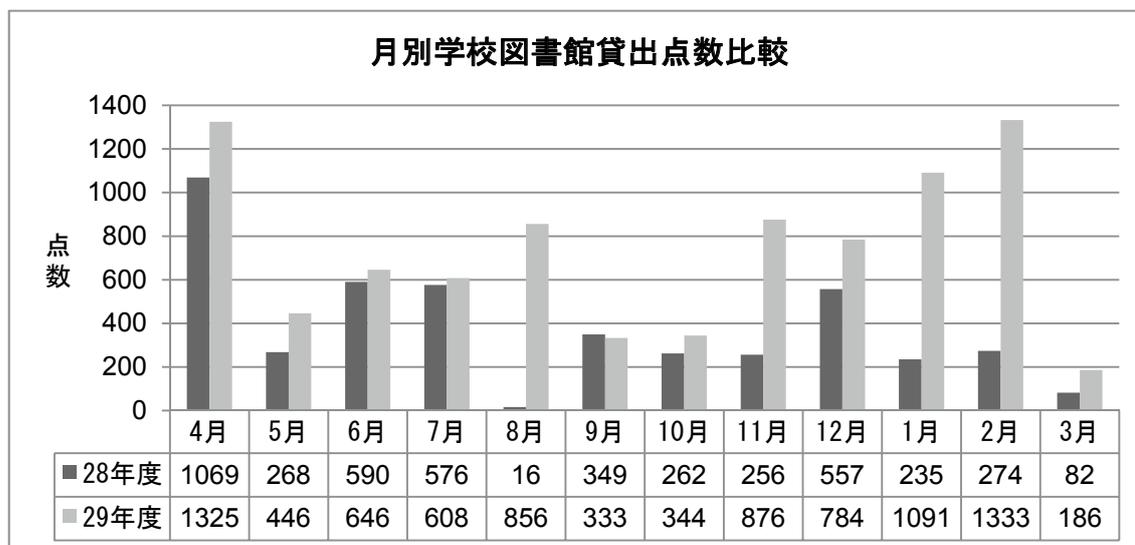
③ 調べ学習等貸出点数

(単位：点)

	1年 (2クラス)	2年 (3クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	63	112	126	67	47	41	48	504
昨年度比	48%	659%	525%	57%	89%	141%	171%	126%

(2) 学校図書館利用実績比較

表 月別貸出点数の比較



企画を実施した11月、1月～2月をはじめ、全体的に昨年度を上回る貸出点数があった。

8月は電算登録のため一端回収した学級文庫を再貸出したことで、昨年度を大きく上回る結果となった。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- 成果1 電算システムを導入し、学級文庫貸出等、一部について運用を開始することができた。
- 成果2 図書準備室は9類の図書について整理を完了することができた。
- 成果3 全校児童へのオリエンテーションを実施し、個人貸出規則の周知を行うことができた。また、企画を実施することで利用頻度が上がって貸出をする機会も増え、昨年度と比較して個人貸出規則の定着が見られた。
- 成果4 優先的に更新作業を要する分野を見極めることができた。

(2) 来年度に向けた課題

- 課題1 電算システムを使った個人貸出を開始するため、全蔵書の速やかな電算登録を行う。
- 課題2 図書準備室に仮配架している0類～8類の図書及び絵本の整理を進め、書庫としての活用を目指す。
- 課題3 電算システムを使った個人貸出規則を設定するとともに、これまでの個人貸出規則から円滑な移行を目指す。
- 課題4 優先的に更新作業を要する分野である5類及び6類を中心に、調べ学習図書の充実を図る。